

2級認定牛削蹄師認定講習会受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 氏名 日山 薫

1. はじめに（目的等）

農場では、蹄病の牛の肢蹄の痛みの軽減等のために職員が削蹄を行うことがある。また、削蹄師に依頼して削蹄をする場合にも補助を行う必要がある。そこで、牛の肢蹄に関する知識と削蹄技術を身に着けるために、2級認定牛削蹄師認定講習会を受講し、試験を受験した。

2. 期間・場所

期間：令和6年12月11日～12月13日

場所：公益財団法人中国四国酪農大学校

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632

3. 参加者等

20名

4. 研修内容

学科

- ・牛と削蹄技術のかかわり
- ・牛の肢蹄の構造と機能
- ・削蹄判断
- ・削蹄法
- ・跛行と蹄病

実技

- ・刃物の研ぎ方
- ・保定法
- ・削蹄法

5. まとめと感想

学科研修では、牛に関する基礎的なこと、肢蹄の解剖・疾病・防疫に関すること、削蹄判断に関すること、基本削蹄法に関することを学んだ。これまで、牛の生理学的なことについて学ぶ機会が多々あったが、運動器の解剖学的なことを学ぶ機会是比较的少なかったため良い機会となった。

実技研修では、削蹄に使用する刃物の研ぎ方について学んだ。プロの削蹄師にご指導をいただきながら砥石を用いて研いだが、切れ味の良い刃物を研ぐためには感覚的な要素がかなり多く何度も繰り返し練習をしなければならないと感じた。また、実際に牛を用いて肢を持ち上げて保定を行い、削蹄の練習を行った。削蹄に関しても、円滑且つ正確に蹄を切削するためには、何度も練習を行い、技術を身に着ける必要があると感じた。

削蹄では、体重の重い牛の肢を持ち上げ、身をかがめた状態で一定時間保持し続ける必要があり、その上で、刃物を用いて作業を行うため事故やケガの危険が伴う。そのため、削蹄を行う際にはよりいっそう安全に配慮し、業務に取り組み、技術の向上に努めたい。